

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 31日

アンケート期間:令和 6年 2月 1日~令和 6年 3月 9日

事業所名 S.I.C.KIDS蟹江校

保護者等数(児童数)17

回収数 15

割合 89%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15					お子様の状態、特性に合わせて配置を工夫して対応しております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14			1		児童指導員、保育士を適切に配置しております。専門性は日々の業務を通じて、また研修で養い支援して参ります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	2				適切な構造化を行い、お子さまが集中しやすい空間づくりを基本として参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15				・とても清潔で安心して利用することができています	掃除、消毒、換気を日々気を付けて行い。心地よく過ごせる空間づくりを意識して作っております。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	15					アセスメントシートを利用し、ニーズや課題を客観的に分析したうえで作成しております。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13			2		ガイドラインを踏まえたうえで適切に選択し、具体的な支援を設定してまいります。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	1				作成された個別支援計画を踏まえてプログラムを立てております。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15					固定化しないよう、毎回終礼で報告し、次回の案を話し合っております。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6			1	8	・コミュニティのお祭りに誘っていただけました ・地域が主催する活動に自由参加することはありましたが、事業所主催はないので今後あってもいいのかなと思いました
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	1					今後も丁寧な説明を心がけていきます。
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	13	1			1		保護者様へ支援開始前に狙い及び支援内容を説明し、同意を得ております
12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	9	1	2	3			座談会にてお子様との接し方、疑問にお答えしていく等、家族支援を定期的に行っていく予定でおります。
13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15					・利用後にコーチとしっかりできている	毎回、支援後に時間をかけ、保護者様と話し合い、共通理解をつくれるよう努めております。

保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	1		1	保護者様との面倒や助言など、要望に応じて、また必要性が高い場合は進んで行えるよう支援に努めております。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	1	3	4	・今度初めてあるの で楽しみです 保護者様同士の繋がりが持ちやすくなるよう、定期的な座談会、交流会の開催を予定しております。	
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12				3	お子様や保護者様から相談や申し入れがあった際は、その都度、迅速に対応して参ります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14				1	それぞれに応じた方法で、情報伝達に日々配慮して行っております。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	3	1	1	・インスタ楽しみに見えています ・Instagramにて発信されていると思いますがInstagramを活用していません	公式ライン、インスタ等のSNSを活用し、今後も発信してまいります。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	12	1	1	1		個人情報の取り扱いには引き続き十分注意してまいります。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	8	1	2	9		マニュアルを保護者様に周知、説明してまいります。訓練についても実施報告を周知してまいります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1	1	9	利用して半年ほどなので避難訓練が行われているかは不明です	今後も定期的な避難訓練を実施してまいります。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	15				とても楽しみにしています	今後も楽しく通っていただけるよう日々努めてまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	15				理想的です	今後も皆様に満足していただけるよう支援してまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 6年 3月 31日

アンケート期間:令和 6年 2月 1日～令和 6年 3月 9日

事業所名 S.I.C.KIDS蟹江校

保護者等数(児童数)7

回収数 7

割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	1			・利用人数と活動内容によって狭いかなと感じます ・運動が安全にできるように配慮された環境だと思います	お子様の年齢、特性、状態に合わせて、教員の配置を変えるなど対応しております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	1			・しっかりと子供に目が行き届いていて、職員の配置数は十分と思う	児童指導員、保育士を適切に配置しております。専門性は日々の業務を通じて、また研修で養い支援して参ります。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1	1	2		適切な構造化を行い、お子さまが集中しやすい空間づくりを基本として参ります。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	7				・個別性に合わせた計画を立てられており信頼できる	アセスメントシートを利用し、ニーズや課題を客観的に分析したうえで作成しております。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	6			1	・週によって様々な取り組みをされており、楽しく運動できている	固定化しないよう、毎回終礼で報告し、次回の案を話し合っております。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1		3	3		地域のコミュニティへ参加し、お祭りなどで交流する機会を今後も作って参ります。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7				・支援内容などとても丁寧に説明してくださりわかりやすい	今後も丁寧な説明を心がけていきます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7				・子供の状況をその都度聞いてくださり、発達の課題も共有できている	毎回、支援後に時間をかけ、保護者様と話し合い、共通理解をつくれるよう努めております。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7				・不安なことなどいつも聞いてくださりとても信頼しています	保護者様との面倒や助言など、要望に応じて、また必要性が高い場合は進んで行えるよう支援に努めております。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2		2	3		保護者様同士の繋がりが持ちやすくなるよう、定期的な座談会、交流会の開催を予定しております。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			1		保護者様との面倒や助言など、要望に応じて、また必要性が高い場合は進んで行えるよう支援に努めております。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7					それぞれに応じた方法で、情報伝達に日々配慮して行っております。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5		1	1		公式ライン、インスタ等のSNSを活用し、今後も発信してまいります。
	14 個人情報に十分注意しているか	6			1		個人情報の取り扱いには引き続き十分注意してまいります。
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	2		1		マニュアルを保護者様に周知、説明してまいります。訓練についても実施報告を周知してまいります。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	1	1	4		今後も定期的な避難訓練を実施してまいります。

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	6	1		・運動が苦手ですがSICでの活動はとても楽しいみたいで、通所に行くことを楽しんでます	今後も楽しく通っていただけるよう日々努めてまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	7			・とても満足しています	今後も皆様に満足していただけるよう支援してまいります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成 6 年 3 月 27 日

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名 S.I.C.KIDS蟹江校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	子ども同士の距離感	お子様同士がぶつかったり、避けようとしてリスクが高まらないよう配慮しております。
	2	職員の配置数は適切である	4			児童指導員、保育士を適切に配置しております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	2	段差での声掛け	適切な構造化を行い、お子さまが集中しやすい空間づくりを基本として参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4			掃除、消毒、換気を日々気を付けて行い、心地よく過ごせる空間づくりを意識して作っております。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			日々ミーティングを行い、目標設定と振り返りを行っております。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			結果をミーティングで全員が共有し、改善に努めてまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			S.I.C.KIDS本部のホームページで公開いたします。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		第三者評価は行っていません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			社内や外部研修を活用し、定期的な機会を確保しております。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4			アセスメントシートを利用し、ニーズや課題を客観的に分析したうえで作成しております。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			標準化されたアセスメントの仕組みを用いて半年に一回行っております。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4			ガイドラインを踏まえたうえで適切に選択し、具体的な支援を設定してまいります。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4			作成された個別支援計画を踏まえてプログラムを立てております。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			立案したプログラムをミーティングにて検討し、ブラッシュアップしております。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			固定化しないよう、毎回終礼で報告し、次回の案を話し合っております。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	1	3	子ども同士で少しかかわりを持てるようにしている	集団活動に適應できるよう、それぞれのお子様の状態を見ながら関わりが持てるよう適宜配慮に努めております。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			その日の支援開始前に、職員間で必ず打ち合わせを行い、確認しております。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			終礼の際、必ず振り返りを行い、共有しております。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			個別のファイルに記録し、振り返りと改善に努めております。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4			6か月ごとにモニタリングを行い、支援計画について見直しを行っております。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1		サービス担当者会議には児発管が参加しております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1		関係機関と連携は児発管が行っております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	2		受け入れ実績はございません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	2		受け入れ実績はございません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4			園との情報共有、連携は、保護者様の意向をくみつつ、実施に努めております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1		学校との情報共有、連携は、保護者様の意向をくみつつ、実施に努めております。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			児発管が参画し、連携につとめております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3		学童のイベントへの参加、地域の子育て支援団体のイベントへの招待など、これからも行って参ります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4			児発管が積極的に参加しております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			毎回、支援後に時間をかけ、保護者様と話し合い、共通理解をつくれるよう努めております。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	1		座談会にてお子様との接し方、疑問にお答えしていく等、家族支援を定期的に行っていく予定でおります。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1		今後も丁寧な説明を心がけてまいります。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4			契約時に支援内容を説明し、同意を得ております。今後もわかりやすく説明できるよう意識して行ってまいります。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			保護者様との面倒や助言など、要望に応じて、また必要性が高い場合は進んで声掛けするよう努めております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3		保護者様同士の繋がりが持ちやすくなるよう、定期的な座談会、交流会の開催を予定しております。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4			お子様や保護者様から相談や申し入れがあった際は、その都度、迅速に対応して参ります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	2		公式ライン、インスタ等のSNSを活用し、今後も発信してまいります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4			書類などは鍵付き書庫にて保管しております。パソコン等はパスワードを設定しております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			それぞれの方に合わせた伝達方法を行っております。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3		現在は開催できておりません。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	1	3	マニュアルを保護者様に周知、説明してまいります。訓練についても実施報告を周知してまいります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		今後も定期的な避難訓練を実施してまいります。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		事前にお子様の状況については確認して支援を行っております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	保護者様へ確認し、都度、アセスメントシートに記載していただく対応をとっております。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		会議を行い、職員間で行っております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		研修を行い、記録を都度残しております。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		支援中にケガにつながる場合等、身体拘束が発生した場合は、都度報告を行い、記録に残しております。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日:平成 6 年 3 月 27 日

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名

S.I.C.KIDS蟹江校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	子ども同士の距離感	お子様同士がぶつかったり、避けようとしてリスクが高まらないよう配慮しております。
	2	職員の配置数は適切である	4			児童指導員、保育士を適切に配置しております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	段差での声掛け	適切な構造化を行い、お子さまが集中しやすい空間づくりを基本として参ります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			日々ミーティングを行い、目標設定と振り返りを行っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			結果をミーティングで全員が共有し、改善に努めてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1		今回初めての評価となります。結果をもとに業務の改善に努めてまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		第三者評価は行っていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			社内や外部研修を活用し、定期的な機会を確保しております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			アセスメントシートを利用し、ニーズや課題を客観的に分析したうえで作成しております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			標準化されたアセスメントの仕組みを用いて半年に一回行っております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			立案したプログラムをミーティングにて検討し、ブラッシュアップしております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			固定化しないよう、毎回終礼で報告し、次回案を話し合っております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1		お子様の発達に合わせ、課題を提供しております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	2		集団活動に適應できるよう、それぞれのお子様の状態を見ながら関わりが持てるよう適宜配慮に努めております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			その日の支援開始前に、職員間で必ず打ち合わせを行い、確認しております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			終礼の際、必ず振り返りを行い、共有しております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			個別のファイルに記録し、振り返りと改善に努めております。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			6か月ごとにモニタリングを行い、支援計画について見直しを行っております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4			成功体験を積み、自己肯定感を育めるよう支援を行っております。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	サービス担当者会議には児発管が参加しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	1	学校との情報共有、連携は、保護者様の意向をくみつつ、実施に努めております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1	受け入れ実績はございません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4		情報共有、連携は、保護者様の意向をくみつつ、実施に努めております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4		情報共有、連携は、保護者様の意向をくみつつ、実施に努めてまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	関係機関と連携は児発管が行っております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	学童のイベントへの参加、地域の子育て支援団体のイベントへの招待など、これからも行って参ります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4		児発管が積極的に参加しております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		毎回、支援後に時間をかけ、保護者様と話し合い、共通理解をつくれるよう努めております。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1	座談会にてお子様との接し方、疑問にお答えしていく等、家族支援を定期的に行っていく予定しております。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1	今後も丁寧な説明を心がけてまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		保護者様との面倒や助言など、要望に応じて、また必要性が高い場合は進んで声掛けするよう努めております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	保護者様同士の繋がりが持ちやすくなるよう、定期的な座談会、交流会の開催を予定しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		お子様や保護者様から苦情があった際は、その都度、迅速に対応して参ります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	2	公式ライン、インスタ等のSNSを活用し、今後も発信してまいります。
	35	個人情報に十分注意している	4		書類などは鍵付き書庫にて保管しております。パソコン等はパスワードを設定しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		それぞれの方に合わせた伝達方法を行っております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	1	3	現在は開催できておりません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	3	マニュアルを保護者様に周知、説明してまいります。訓練についても実施報告を周知してまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		今後も定期的な避難訓練を実施してまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		研修を行い、記録を都度残しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		支援中にケガにつながる場合等、身体拘束が発生した場合は、都度報告を行い、記録に残しております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	保護者様へ確認し、都度、アセスメントシートに記載していただく対応をとっております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		会議を行い、職員間で行っております。